

令和7年第11回 須崎市教育委員会議事録

1. 日 時；令和7年10月24日（金）午後1時30分から午後2時16分まで

2. 場 所；須崎市総合保健福祉センター 3階 研修室

3. 出席者等；教育長：竹内 新

委 員：徳久 和宏、尾崎 恵子、岡田 和美、松岡 健夫

事務局：学校教育課長 森光 和明

生涯学習課長 福本 博一

子ども・子育て支援課長補佐 有澤 智香

学校教育課長補佐 岡崎 美紀

1 開会

2 前回会議事録の承認、署名

各委員に対して、配付議事録（案）を確認後に、署名を依頼する。

3 教育長の報告

皆様、こんにちは。

定刻となりましたので、これより定例の須崎市教育委員会を開催いたします。

【学校の体育祭・文化祭について】

まず1点目として、体育祭・文化祭のシーズンです。私も日程が合った小・中学校の数校と、地区主催の運動会の一つに行きました。規模やスタイルがみな違っており、みな良いと感じた次第です。

9月13日の浦ノ内中学校の文化発表会では、閉校を目前にして、昨年度は「浦ノ内地区の中学生」というポジションでの発表でしたが、今年度は「須崎市の中学生」にこれからはなるのだという新たな気持ちが伝わってきたことが印象的でした。

【民生委員児童委員協議会の児童専門部会との意見交換会について】

10月16日に民生委員児童委員協議会の児童専門部会と教育委員会との意見交換会がございました。かなり時間もかけて、学校統合、教育変革ビジョン、放課後子ども教室のことなどのやり取りができたと感じています。私からも、冒頭のあいさつの中で、市長が本市で進めようとしている女性活躍社会に関連して、シングルマザー支援協会との連携協定締結に触れながら、民生委員・児童委員の方々の力が必要になることも考えられるので、よろしくお願ひしたいと申し上げております。

【不登校・不登校傾向対策委員会について】

10月23日に、不登校・不登校傾向対策委員会がございました。昨年度に文部科学省から発表された令和5年度の「不登校児童生徒数が過去最大の34万6400人」という人数は衝撃をもって報道されておりました。

本市の状況としては、国の調査結果の1年後の数字ですが、市内の小学生の不登校児童数は15人で全体の2.19%、中学生の不登校生徒数は28人で全体の8.54%です。当然、「不登校傾向」の児童生徒はそれ以上にいるだろうという状況です。

そして、この日は、不登校から社会的自立をされた経験をお持ちである(株)ブランド高知の中島社長をお招きして、その貴重なお話を伺いました。各学校から参加した委員にとりましても、今後の不登校対策の示唆を得られたものと考えています。

私からは以上でございます。本日もよろしくお願いたします。

4 議事

議案第 60 号	須崎市未熟児養育事業実施要綱の一部改正について	同意
議案第 61 号	須崎市就学援助費交付要綱の一部改正について	同意
議案第 62 号	須崎市閉校記念行事補助金交付要綱の制定について	同意
議案第 63 号	児童生徒校区・区域外通学許可について（秘密会）	同意

【質疑】

議案第 61 号

(松岡委員) 申請書に押印必要な申請書と押印不要な申請書が混在していますが、統一した基準はないのですか。

(森光課長) 統一した基準はありませんが、申請書などは、できる限り押印を省略する方向です。須崎市就学援助費交付要綱の申請書についても押印が省略できるか確認します。

5 その他（報告事項）

- ・ 図書館等複合施設の愛称募集について
- ・ 吾桑駅の改修工事について

6 閉会

次回の定例委員会を令和 7 年 1 1 月 2 8 日(金)午後 1 時 30 分から開催することを確認し、閉会となる。